



No.71

市民ネットワークちば



私たちの代理人として議会に送り出しています。
 左から、山田京子(若葉区)、長谷川ひろ美(花見川区)
 湯浅美和子(美浜区)、小西由希子(中央区)
 福谷章子(緑区)、常賀かづ子(稲毛区)
 (市議会議員)

発行責任者 坪井はるか 湯浅美和子

編集・発行 市民ネットワークちば 〒260-0013 千葉市中央区中央 4-10-11 TEL043-201-2551 FAX043-223-7701

千葉市の家計簿 市民が点検

誰も止めなかつた借金財政

熊谷市長は、昨年11月に「脱・財政危機」を宣言しました。危機的状況はなんとなく感じられても、公開された資料を見ただけでは、複雑な市の財政は、市民にはなかなか理解できません。

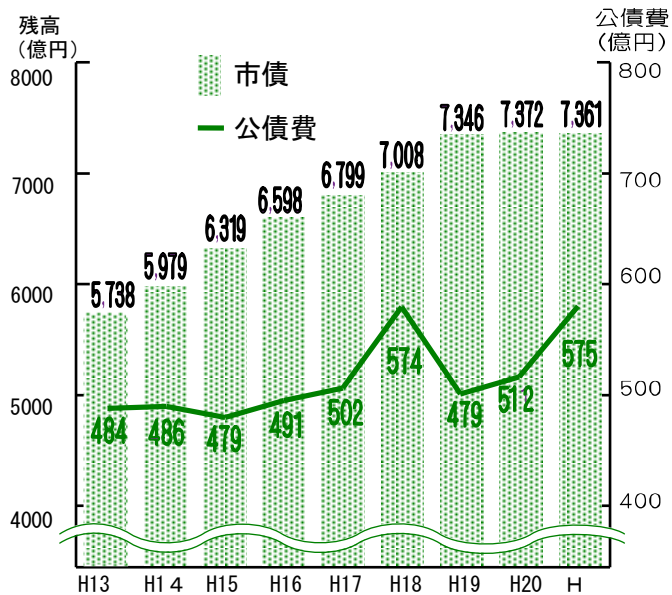
今、全国各市で市民による財政白書作りが進められています。破綻するまで気づかないといった事態を招かないように、市民も財政について学び、しっかりと点検していこうと、市民ネットワークちばでは、財政分析連続講座を開きました。

将来に責任を持つ財政を

昨年7月末から11月の始めにかけて6回にわたる講座は35人の参加で始まりました。テキストは「増補版 習うより慣れるの市町村財政分析」(大和田一絢著)。昭和60年度から平成19年度までの千葉市の決算カードを見て、テキスト巻末にある「決算額の推移」「歳入決算額

市債残高と公債費の推移

(市の借金) (その年に返金する借金)



(普通会計ベース 千葉市の公表資料より)

右肩上がりの経済成長が終わつたにもかかわらず、国の指導のままに借金を続け、目的も明確でない土地を買ひ、大規模な開発事業をやめなかつた千葉市。他政令市と比べて、税の徴収率が低い千葉市。

分析表からさらにグラフを作成し、他自治体との比較をするなど、財政分析の方法はさまざまです。

今後、市民ネットワークちばでは、この財政分析の手法を使って、千葉市の財政の具体的な問題点をあぶり出し、将来に責任の持てる財政のあり方を求めていきたいと考えています。

市民ネットワークちば共同代表 坪井はるか

財政分析講座 講師から一言

NPO法人多摩住民自治研究所
 事務局長 大野清

昨年自治体財政分析などという面倒なテーマで、沢山の皆さんと一緒に学び合いました。

市政改革の提案です。千葉市は監査委員4人、事務局19人、更に公認会計士に包括外部監査を依頼しています。にもかかわらず不正経理の報道がされています。一回何もかも総ざらいで監査をしたらどうでしょうか。おざなりな定期監査ではなく、会計関係の書類は何もかも確認するのです。(通常はごく一部の抽出監査です。)膨大な手間がかかります。経費を考えて「そんなことはできない。」と考えます。しかしできるのです。市長が変わった今こそチャンスです。

まず常勤の監査委員が元局長では無理なので、利害関係のない人に交代してもらいます。そして「市民オンブズマン」の皆さんに書類を片端からチェックしてもらおうのです。問題意識のないアルバイトでは無理です。市政改革を望み手弁当で頑張っている市民オンブズマンにチェックしてもらおうのです。多分報酬はタダでも喜んで引き受けると思います。この効果は抜群でしょう。これ以降は怪しい会計書類は無くなると思います。職員にとっても痛くもない腹を探られずに済みます。しかも費用はタダみたいなものです。究極の行政改革かな? 今年も一緒に学び合ひましょう。



画期的な千葉市の事業仕分け

～効率性重視には疑問も～

市議会議員 常賀かづ子

国に先立ち実施した千葉市の外部委員による事務事業評価(事業仕分け)は、市民意見の募集や公開の場で市民も発言できるという大変画期的なものでした。

対象となった44事業の評価結果は「廃止を検討すべき」34%「市が実施すべきだが要改善」43%「民間委託あるいは市民団体との連携を図るべき」14%、現行どおりはゼロという厳しいものでした。

今まで内部評価だけであったものが、客観的に点検できたことは有意義でした。しかし、外部委員の意見は効率性を重視したものが多く、サービスを受ける側の市民や利用者の声が、予算編成にどこまで反映されるかは疑問です。

また事業の中には、「老人つどいの家」等昭和40年代から続いている事業や、情報紙「あでるは」と「市民フォトちば」等類似事業があり、社会情勢の変化にもかかわらず、事業の目的や必要性など見直ししてこなかった市の姿勢も問われます。

今後、市は、外部評価を継続していくとのことですが、効率性だけでは測れない事業もあるなど課題も多く、評価のあり方を再検討しながら進めていくことが必要です。

予算編成過程が公開されています。評価結果が平成22年度予算にどのように反映されるのか、編成段階の市民への情報公開、説明責任はきちんとされるのかしっかりと見守り、声を上げていきましょう。